

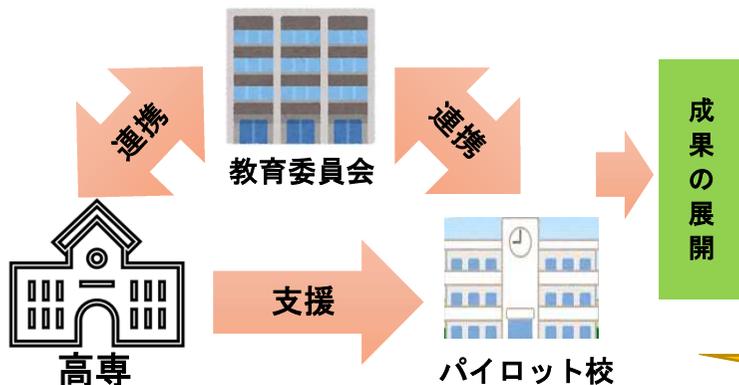
# 令和4年度 高専高度化推進経費（学校改善事業・機能強化）（テーマ：b. 社会連携・地域貢献活動の取組） 地元教育委員会と連携した小・中学生に対するICTを活用した教育支援プロジェクト



## ●実施概要

目的・背景	本プロジェクトでは、地元教育委員会と連携し、本校教員および学生が小・中学校の教員と協働し、ICTを活用した教育立ち上げのための授業支援や情報活用能力育成のためのモデルカリキュラムの開発支援等を行う。		
取組内容	本校の得意とする情報技術の能力を提供し、教員・学生をパイロット校に派遣して現場の教員と協働しながら、ニーズに応じて情報教育を含むICTを活用する授業の運営支援や授業で使うICT教材の開発および情報教育に関するモデルカリキュラム開発、現場教員の情報活用に関する指導能力向上支援を行う。		
定量的な成果目標	成果目標は、参加者の満足度90%以上を目標とする。		
成果指標 (アウトカム指標)	参加者の満足度を成果指標とする。	成果実績	参加児童：91% 参加教員、本校学生ならびに児童の保護者：100%

## ●取組内容の説明



### 【支援内容】

- 1.情報活用能力育成のためのモデルカリキュラムの開発支援**  
 ※事業後も自走できる体制を構築するために必要となる知識、課題設定や手法等を教示するための講習会を実施
- 2.ICTを活用した教育立ち上げのための授業支援**  
 ※4～6年生、保護者や教員を対象とした共同授業を実施
- 3.授業の運営支援や授業で使うICT教材の開発**  
 ※GoogleMeet等を介して米田小学校の教員等と情報・意見交換会等を実施し、現場の意見を反映した授業用ICT教材等の開発を行ったほか、その開発した教材等を共同授業で使用し、判明した課題等を検証し、改良した。



成果・効果	高砂市教育委員会と連携し、高砂市立米田小学校をパイロット校として実施した。令和5年2月までに共同授業を8回、講習会を1回実施しており、令和5年3月3日（金）に共同授業を7回実施する予定である。次年度については、パイロット校が自走して事業を継続、発展させるために必要となる人材育成やカリキュラムの開発支援等の支援事業を引き続き実施する予定である。
-------	--

## ●他高専でも導入可能なノウハウ

小・中学校では、教員に対するICTに関する教育支援が十分でないため、当該教育支援に関する高専への期待が高い。その中でも特に、自力での理解が困難なプログラミングを活用した授業に関する支援を期待する声が意見交換の際に多かったことから、このたびは、初心者向けかつ汎用性の高い「micro:bit」を活用した共同授業や講習会を実施して授業構築のノウハウや教材の活用・作成方法及び関連知識の提供を実施したところ、高評価を得ることができた。本校以外の地域でもその状況に大きな差異はないと考えられるため、同様の支援が可能であると考えられる。